

手話にチャレンジ Vol. 3

「あいさつをしよう」

障がい福祉課(本庁第2庁舎内) ☎ 88 - 5262 ☎ 88 - 5283

新型コロナウイルス感染症対策として、マスクは生活に欠かせないものになりました。しかし、口の動きや顔の表情を見ながら相手の言いたいことを読みとる聴覚障がい者にとって、マスクをしていると、何を言っているのか、あるいは自分に話しかけられているのかさえ分かりません。

マスクを取らなくてもあいさつができます。手話であいさつし、だれもが気持ちよく過ごせるように配慮しましょう。

おはようございます



こめかみにあてた右こぶし
を下ろす

こんにちは

▶ 正面



立てた2本の指をそろえて額の中央にあてる

▶ 横



さようなら



手を振る(バイバイの
しぐさ)

こんばんは



開いた両手を左右から引き寄せ、目の前で交差させる

ありがとう



左手甲の上に右手を直角に乗せ、右手を上上げる

聴覚障がい者支援用バンダナ

聴覚障がい者は、災害などが発生した時、外見からは支援が必要であることが理解されにくいために、避難所などで周囲の情報が伝わりにくいことがあります。そのため、「手話ができること」「耳が不自由であること」を周囲に伝えるためのバンダナを作成しました。避難所などでは聞こえない人に対する支援・配慮を見逃さないようにしましょう。



バンダナ



使用例

参加者募集中

手話体験教室

- とき / 3月21日(日) 午後1時～3時
- ところ / 氷上住民センター 実習室
- 対象 / 手話に関心がある人
- 定員 / 20人※先着順
- 申込方法 / 障がい福祉課(☎ 88 - 5262) まで電話で申し込んでください。
- 申込期限 / 3月17日(水)
- ※新型コロナウイルスの影響で、中止または変更になる場合があります。